



全日写連
中部本部

東日本大震災の被災者を あなたの写真で励まそう!

「フォト・エール」運動をスタート 皆さんの素敵な作品を大募集

東日本大震災の復興の様子を撮り続け、過去5回の「記録展」を開いている会員さんが、中部本部管内にいるのをご存じでしょうか。

山下みつ子さん(81)。名古屋のアトリエ・エラン支部に所属する傍ら、2014年から年に数回のペースで岩手、宮城、福島各県を訪問。撮影を通じ、様々な被災者と交流を続けています。その活動ぶりは2018年2月、朝日新聞の紙面やWEBサイトでも取り上げられました。

※掲載記事は Google や Yahoo! などから「80歳の使命感」で検索すると表示されます。

そんな彼女が3年ほど前から始めたのが、自ら撮った風景や花の写真を実地の被災者に贈る活動です。仮設住宅や復興住宅で暮らす人々からは「心が和む」と好評で、すでに200枚以上の作品を自費で送っています。しかし、口コミで需要が増えたことにより、今では現地のNPOから来ている100枚単位の要望に、自作だけでは賄いきれない状況になってしまいました。

そこで中部本部では「写真でエールを送ろう」との思いを込め「フォト・エール」という名称で彼女の活動(作品の収集や発送)を支援することにしました。

今回の運動に賛同頂ける方は、下記要項に沿って作品をお送りください。送料はご負担頂くこととなりますが、皆様のご協力をお待ちしております。(中部本部事務局長 日置康夫)

▼募集要項

サイズ：2L～半切 (これより大きいものは送料などにも影響するためご遠慮ください)

図柄：▼好まれるもの…風景や動植物 (風景なら全景。花はアップ系)

心が和んで落ち着く、できれば色彩豊かなもの

▼不向きなもの…人物スナップ (アップ系は故人を思い出すようでNG)

宗教色のある祭事や神事系。分かりにくい心象系。

送り先：〒460-8488 名古屋市中区栄1-3-3 朝日新聞名古屋本社2階

全日本写真連盟中部本部事務局「フォト・エール」係

締切り：毎回、ある程度の枚数が集まった段階で送る予定ですが、初回募集

は「9月30日」締め切りとし、次回以降は順次、お知らせします。

【参考】写真が届いてからの流れ (有志による手作業)



お送り頂いたプリント
(2L～半切)



②写真サイズに合う厚紙(プリンター用紙の台紙など)の各辺に製本テープで「枠」付け後、フォトコーナーを貼る



③フォトコーナーのそれぞれに写真の四隅を差し込めば完成

とある程度の枚数が集まった段階で発送

①写真によっては「余白」や「余黒」を裁断させて頂く場合もあります。予めご了承ください

※ご不明点は日置 (080-1575-8495) までお問い合わせください。